

以下の手順書に従い、各自のLocal上 に新規にWordPressサイトを作成す る。完成後、All in One WP Migrationプラグインを使用してサイト データをエクスポートし、提出してください。

提出期限 2/14(金)

※提出方法は最後のページを参照

【評価ポイント】

- Localに、指定したドメイン(サイト名) でWordPressが正しくインストールさ れていること
- 指定したテーマをインストールし、有 効化できていること
- Contact Form 7を使用してお問合せ フォームを設置し、正常に機能する こと
- 指定したコンテンツを固定ページに 作成し、グローバルメニューからアク セスできること
- ブロックエディタで、画像や文章など 指定したとおりにレイアウトできてい ること
- プラグインとテーマの自動アップ デートが有効化できていること
- Updraft plusを使用して、スケジュー ルによる自動バックアップが設定で きていること

1) Local に新規サイト作成

- 「Local」を立ち上げて、左下の + をク リック
- Create a new site を選択し continue をクリック
- サイト名に各自の学籍番号(例:24S01)
 を入力し continue をクリック
- Preferred を選択
- WordPress Username にkanri、
 WordPress Password にicc2024と入力
- ADD SITE ボタンをクリック
- 途中で表示される場合はWindowsのダ イアログは「はい」を選択
- しばらく待ち、Localの左側のリストに学 籍番号のサイトが表示され緑のマークが 付けばインストール完了、サイトが起動し ている

2)管理画面にログイン

- リストから作成したサイトをクリックし、右 ペインの WP Admin ボタンをクリックし てログイン画面をひらく
- Username~ に kanri、 Password に icc2024 と入力しログイン Log In ボタン をクリック
- Settigs > General をクリック
- ページ中段の Site Languageドロップダ ウンから 日本語 を選ぶ
- その下の Timezoneドロップダウンから UTC+9 を選ぶ
- Save Changes ボタンで保存する
 ⇒ 管理画面が日本語化される

3)テーマのインストール

- 外観 > テーマ をクリック
- 新しいテーマを追加 をクリック
- 右上の検索窓にTwenty Twentyと入力 し、テーマ「Twenty Twenty」をインストー ル・有効化する



(Twenty Twentyのサムネイル画像)

4) Contact Form 7の設定

- プラグイン> 新規プラグインを追加 をク リック
- 右上の検索窓に Contact Form 7 と入 力すると選択肢のトップに表示される



- 今すぐインストールボタンをクリック
- しばらく待ち、青い 有効化 ボタンに変わったらクリックし、プラグインを有効化する。
- をメニューのお問い合わせ>コンタクト フォームをクリック
- プラグインインストール時に自動生成されているコンタクトフォーム1をクリック
- フォームタブにおいて、メールアドレスを 囲っている labelの閉じタグの後で改行す

る



- 保存 ボタンをクリック
- メール タブをクリック
- 作成した 電話番号 のメールタグ(例: [tel-93])が画面内に太黒字で表示されて いるのでテキストを選択してコピーする

 メッセージ本文欄の<[your-email]>の後 で改行する



 コピーしたメールタグをペーストし、その 手前に電話番号:とラベルも付記する



- 保存 ボタンをクリック
- 固定ページ > 新規固定ページを追加 を クリックして投稿画面をひらく
- タイトル欄にお問合せと入力
- タイトル欄右下の黒い + アイコンをク リックし、現れた検索窓に Contact Form 7 と入力する
- Contact Form 7 のブロックが表示されるので選択する



- 挿入されたContact Form 7のブロックにおいて、前段で編集したコンタクトフォーム1が選択されていることを確認
- 右上の青い 公開 ボタンをクリックしてお
 問合せページを公開する
- 左上の黒白のWマークをクリックして編 集画面を抜ける

5)会社概要ページの作成

 Google Mapを設置するために Map Block for Google Maps プラグインをイン ストールする。プラグイン > 新規追加 を クリックし、画面右上の検索窓に Map Block for Google Maps と入力する



- 今すぐインストール > 有効化の順にク リックしてプラグインを有効化する
- 固定ページ > 新規固定ページを追加を クリックして投稿画面を開く
- タイトル欄に会社概要と入力
- タイトル欄右下の黒い「+」アイコンをク リックし、現れた検索窓に Map と入力する
- Map Block for Google Maps のブロック 「地図」が表示されるので選択する
- 挿入された地図をクリックし、右ペインの APIキーを以下のものに打ち直す(コピー &ペースト):

AlzaSyAOI7CnjGSCQCSP3lbjHqbl8O jqd74PxIE

- 右ペインの住所(Address)欄を長野県 飯田市松尾明7591と打ち直す
- その下の ズーム(Zoom) 欄を15 に設定
- 挿入したマップの下側(ベージュの背景) をクリックすると、右側に「+」ボタンが表示されるので、クリックし段落ブロックを 挿入
- ブロックに 〒395-0823 長野県飯田市松尾明7591 と挿入(記述)
- 右上の青い 公開 ボタンをクリックしてお
 問合せページを公開する
- 左上の黒白のWマークをクリックして編 集画面を抜ける

6) グローバルメニューの作成

- 外観 > メニュー をクリック
- メニュー名 に Main と入力



デスクトップ水平メニュー と モバイルメ ニュー にチェックを付けて、下部の メ ニューを作成 ボタンをクリック

- 左の メニュー項目を追加 セクションから、固定ページの すべて表示 タブをクリック
- 先に作成した 会社概要 とお問合せ、さらにホーム にチェックを入れて メニューに追加 ボタンをクリック
- 右側のメニュー構造 セクションに挿入された各ページが垂直に、ホーム → 会社概要→お問合せの順に並ぶように、会社概要をクリック&ドラッグして2番目に移動する(すでに上記の並びになっていれば不要)

ホーム	カスタムリンク	*
会社概要	固定ページ	*
お問合せ	固定ページ	*

右下のメニューを保存をクリック

7)フッターウィジェットを修正

- 外観 > ウィジェット をクリック
- フッター1の2つのウィジェットのタイトル が英語になっているので以下のように打ち直す:

Recent Posts を 最近の記事 に Recent Comments を コメント に

- フッター2 をクリックしてアコーディオンメニューを開く
 同様に以下のように打ち直す:
 Archives を 過去の記事 に
 Categories を カテゴリー に
- 右上の青い 更新 ボタンをクリック

8)カテゴリーの修正

- _____
- 投稿 > カテゴリー をクリック
- デフォルトカテゴリーの Uncategorized
 をクリック
- 名前をお知らせに、スラッグを news に 打ち直す
- 青い 更新 ボタンをクリック

9)お知らせ記事の作成

- -----
- 投稿 > 投稿一覧 をクリック
- Hello world! というダミー記事にマウス ポインタを重ねるとゴミ箱へ移動という 赤いリンク文字が表示されるのでクリック して削除
- 投稿 > 新規投稿を追加 をクリック
- 投稿画面のタイトル欄に

サイトリニューアル**OPEN**のお知らせ

と入力

- タイトル欄右下の「+」ボタンをクリックし
 段落 ブロックを挿入
- ブロックに以下のように記述(ペースト):
 ここから下 —
 日頃はcore booksをご愛顧いただき誠に ありがとうございます。

本日、サイトをリニューアルいたしました。

これまで以上に内容を充実させ、最新の 情報をわかりやすく発信してまいります。 どうぞご期待ください。 — ここから上 —

- 右ペインの 投稿 タブをクリックして切り替え、カテゴリー をクリックしてアコーディオンメニューを開く
- お知らせ カテゴリーにチェックを入れる
- 右上の青い 公開 ボタンをクリックしてお 知らせ記事を公開する
- 左上の黒白のWマークをクリックして編 集画面を抜ける

10)自動バックアップ設定

- プラグイン > 新規プラグインを追加 をク リック
- 右上の検索窓に updraft plus と入力すると次のようなプラグインが上位に表示される。<u>似たアイコンのプラグインが並ぶので注意</u>:

UpdraftPlus	UpdraftPlus WordPress Backup Plugin バックアップと復元を簡単に。手動ま は自動予約 (Dropbox, S3, Google イズ, Rackspa 作者: UpdraftPlus.Com, DavidAnder	今すぐインストール 詳細情報 た ドラ son
★★★★★★ (5,79) 有効インストール数: 3ī 上	4) 国万以 ✓ 使用中の W	最終更新: 3週間前 P バージョンと 互換性あり

- 今すぐインストールをクリック
- しばらく待ち、青い 有効化 ボタンに変わったらクリックし、プラグインを有効化する。
- 左メニューの UpdraftPlusをクリック
- 設定 タブをクリック
- ファイルのバックアップスケジュールを、 ドロップダウンメニューから Weekly(毎 週)に切り替え、予約からのバックアップ を保存しておく数を4にする (4週間分のバックアップ)
- データベースバックアップのスケジュール を、ドロップダウンメニューから Daily(毎 日)に切り替え、予約からのバックアップ を保存しておく数を7にする (7日間分のバックアップ)
- ページ下部にスクロールし、変更を保存 ボタンをクリック

バックアップ / 復元 タブをクリックし、次回に予定されたバックアップ セクションのファイル、データベース それぞれに緑色の文字で日付が表示されていれば自動バックアップの設定が完了している。

11)プラグイン&テーマの自動アップ デート設定

- プラグイン > インストール済みプラグイン をクリック
- 各プラグインの左端にあるチェックをすべて選択し、一括操作ドロップダウンメニューから自動更新を有効化を選択

プラグイン「新規追加」		
すべて (2) 使用中 (2) 自動更新無効 (2)		
✔ 一括操作 〕 適用		
有効化		
無効化		
更新		
1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1		
自動更新を有効化		
自動更新を無効化		
Google Maps		
Create with Gutenberg 無効化		
✓ プラグイン		
一括操作 ~ 適用		

- ドロップダウンの右隣の 適用 ボタンをク リック
- 各プラグインの右端の 自動更新 欄のリ ンクテキストがそれぞれ 自動更新を無効化 となっていることを確認(リンクテキストが 「無効化」となっているということは、現在 は有効化されている)
- 外観 > テーマ をクリック
- Twenty Twenty にマウスポインタを重ねるとテーマの詳細という文字が表示されるのでクリック

- 自動更新を有効化リンクをクリック。リン クテキストが「自動更新を無効化」に切り 替われば自動アップデートの有効化が完 了。
- 右上の「×」をクリックしてダイアログを閉じる
- 同様に、デフォルトでインストールされている(であろう)テーマ、Twenty
 Twenty-Four、Twenty Twenty-Theree、Twenty Twenty-Twoの自動更新も有効化する

12)サイト内各部の表示と動作確認

- 管理画面の左上、サイト名(学籍番号)を クリックして、サイトを表示する
- 以下の各所を確認:
 - トップページに「サイトリニューアル OPENのお知らせ」記事が表示され ていること
 - 各フッターウィジェットのタイトルが日本語化されていること
 - サイト右上のグローバルメニューが 次の順にならんでいること:
 - ∎ ホーム
 - 会社概要
 - お問合せ
 - グローバルメニューの 会社概要 を クリックし、Googleマップがただしく 表示され、飯田コアカレッジの場所を 示していること
 - マップの下に飯田コアカレッジの住 所が記載されていること
 - グローバルメニューの お問合せ をク リックし、メールフォームが正常に表 示されていること、追加した 電話番 号 欄が表示されていること
 - グローバルメニューのホームをクリックし、トップページ(「サイトリニューアルOPENのお知らせ」記事)
 ヘアクセスできること
 - サイト左上のサイト名が、自分の学 籍番号になっていること

13)メールフォームの動作テスト

- グローバルメニューのお問合せをクリック
- メールフォームに、ダミーで良いので、す べての項目に入力する(本文に「テストで す」など)
- すべて入力したら送信 ボタンをクリック
- 送信直後にメールフォーム下部に「あり がとうございます。メッセージは送信され ました。」とメッセージが表示されれば無 事メールが送信されたことを示す。
- Local の画面に切り替え、現在作業して いるサイトの Tools タブ(またはUTILITY) タブをクリック
- Open Mailpit リンクをクリック
- ブラウザの別タブ/ウィンドウでテスト用の メーラー Mailpit が開き、今送ったメール が最新メールとして届いているのが確認 できるのでクリックして本文を開く
- 本文欄に以下の内容が反映されている ことを確認する:
 - 差出人
 - メールアドレス
 - 電話番号
 - 題名

← 🗎 ⊻ ৫

From 21M03 <wordpress@21m03.local> Subject **21M03 "テスト"**

To dev-email@flywheel.local

Plain text Source

差出人: みやざわ <dxd5001@gmail.com> 電話番号: 0265251407 題名: テスト

メッセージ本文 : テストです。

--このメールは 21M03 (http://21m03.local)

• 以上で、メールの動作確認ができた

14)サイトデータのエクスポート

 WordPressのダッシュボードに戻る。 サイトから戻る場合は上部の adminバー (黒い背景の帯状のメニュー)の左端のサイ ト名(学籍番号)にマウスポインタを合わせ、 ドロップダウンメニューから ダッシュボード をクリックして管理画面に戻れる

- プラグイン > 新規追加 をクリック
- 右上の検索窓に all in one wp migration と入力するとトップ/上位に次 のようなプラグインが表示される:



All-in-One WP Migration

1クリックでサイトを移動、転送、コピー します。すぱやくて簡単、高い信頼性。

作者: ServMask

- 今すぐインストールをクリック
- しばらく待ち、青い 有効化 ボタンに変わったらクリックし、プラグインを有効化する。
- 左メニューの All-in-One WP Migration
 > エクスポート をクリック
- 緑色のエクスポート先(EXPORT SITE TO)のドロップダウンメニューをクリック し、ファイルをクリックする(進捗状況を 表すダイアログが表示され、この間にサ イトデータの収集と圧縮が行われる)
- しばらく待ち、次のような画面に切り替わったら



- 緑色の xxxx.LOCAL をダウンロードボ タンをクリックすると、エクスポートした ファイルのダウンロードが始まる
- Windowsのダウンロードフォルダ(ブラウ ザのダウンロード先の設定による)に次 のようなフォーマットのファイルがしばらく するとダウンロードされる:

例)

24S01.local-20220204-001210-e4lj8z. wpress

- このファイルを提出してください(正しくエ クスポートできていれば、私のパソコン上 のLocalにインポートしてまったく同じサイ トが再現できますので、それを使って チェックします)
- ダウンロードが完了したら赤い閉じるボ タンでダイアログを閉じる
- 忘れずに All-in-One WP Migration プラ グインの自動アップデートを有効化してお くこと

提出期限 2/14(金)

※提出方法は次のページを参照

WordPress の課題の提出について

- エクスプローラーを開き、学校法人コア学園飯田コアカレッジの std2024 General を開きま す。
- ② その中の WordPress というフォルダーを開きます



ب

- ③ 自分の学籍番号のフォルダーに、提出するファイルをコピーします。
- ④ アップロード完了まで待ちます。↓
 - 下の例のように、緑のチェックマークが表示されるまで待ってください。

